



講演会、教養講座には、多くの社会人の方たちの参加があります。インターネットなどを通じて、たくさんの学びの機会があります。当学会も皆様に”知の悦び”を提供できる一翼になりたいと願っています。

■■■■ 今号のおもな記事 ■■■■

- ・総会・大会報告
- ・大会アンケート
- ・教養講座要旨
- ・講演会要旨
- ・セミナー余聞
- ・エッセイ

総会報告

2015年6月6日(土)13時～14時、早大・戸山キャンパス39号館6階・第7会議室にて今年度の総会を開催しました。

会員総数168名。5分の1の34名以上が必要定数のところ、7名の出席、57通の委任状の提出があり、7名+57名=64名となって総会の成立を確認しました。矢野裕之氏を議長に選出し、以下の議題を討議しました。

第1号議案 2014年度事業報告

ア.第39回大会(公開講演会)開催

2014年6月28日(土)15:00～17:00

場所:早大戸山キャンパス

33号館3階・第1会議室

講師:福田一彦氏

(江戸川大学 社会学部人間心理学科 教授)

テーマ:「目からウロコの睡眠学

～ホットミルクから金縛りまで～」

イ.懇親会

2014年6月28日(土)17:30～19:30

Le Cafe RETRO (ル・カフェ・レトロ)

ウ.教養講座開催

・第16回 2014年5月14日(水)

場所:早大戸山キャンパス

第2研究棟(39号館)5階・第5議室

講師:押山千秋氏(音楽療法士)

テーマ:「障がい児を対象とした音楽療法

～障がい児の適応行動形成に

有効な音楽活動～」

・第17回 2014年12月6日(土)

場所:早大戸山キャンパス34号館4階・453教室

講師:湯川進太郎氏(筑波大学)

テーマ:「からだでこころをマネジメントする
:身体心理学の理論と実践」

エ. 瓦版発行 第25号(2014年5月)、

第26号(2014年12月)、第27号(2015年3月)

オ. 研究部会 精神生理研究部会

第68回研究会 2015年3月13日

カ. 学会ホームページ運営

キ. ブログ運営

ク. 理事会開催...全7回開催

(2014年4月19日、5月17日、6月7日、6月28日、
12月6日、2015年1月24日、3月7日)

第2号議案 2014年度収支決算

第3号議案 2015年度事業計画・予算案

ア.第40回大会(公開講演会)開催

2015年6月6日(土)15:00～17:00(14:30開場)

場所:早大戸山キャンパス36号館3階・382教室

講師:丹羽真一氏(福島県立医科大学

会津医療センター特任教授)

テーマ:「腰痛を解く心のナゾ」

イ.懇親会 2015年6月6日(土)18:00～20:00

肉とパスタのお店 at Den (高田馬場)

ウ.教養講座開催

・第18回 2015年5月23日(土)10:00～12:00

場所:早大戸山キャンパス39号館6階・第7議室

講師:中村玲子氏(帝京平成大学

健康メディカル学部臨床心理学科講師)

テーマ:「スクール・ソーシャルワーカーの仕事
～相談事例を通して～」

・第19回 講師・日程未定(秋実施予定)

エ.瓦版発行

第28号(2015年9月発行予定)

第29号(2016年3月発行予定)

オ.研究部会...精神生理研究部会

カ.学会ホームページ運営

キ.ブログ運営

ク.理事会開催...6回程度開催

ケ.2016年度予算案

公開講演会要旨

2015年 6月 6日

腰痛を解く心のナゾ



丹羽真一 福島県立医科大学・
会津医療センター・特任教授

腰痛の原因

腰痛をめぐるお話し、とくに心と病気の関係がどんな風に理解されているのかをお話していきたいと思います。日本人が病院に通っていらっしゃる理由は色々ありますが、1位は高血圧、2位に腰痛症、3位に虫歯となっております、腰痛に悩んでいらっしゃる方が多い。その腰痛ですが、医学的に説明のつかない痛みを抱えている方が多い。整形外科的な原因がある腰痛は20%程度で、残りの80%の方は説明がつかない。でも痛みを訴えて受診して来られた方に対して、整形外科の先生方は対処しなくてはならず、ときには手術をする。でも手術をしたからといって、良くならないどころか、かえって痛くなったということを訴えられる方も多い。

リエゾン診療

福島医大では、整形外科と心身医療科の2つの科で、腰痛あるいは下肢痛、そういったものが慢性的に続いてしまう、しかし整形外科から見ると何でこれが痛いかわからないという方を一緒に診るということを、これをリエゾン診療と言っているんですが、20年ぐらいしてきました。福島医大の整形外科の方を受診されにきた方で、心身医療科と一緒に診察した方が良いと思われる方を診るというわけです。何か所かで治療を受け、手術も受けたけれど良ならず、福島医大に来られる方が多い。リエゾンカンファランスを受診された方のうち、社会的要因が関連があると認められた方の割合が63%ありました。

中味としては、家族問題、職場の問題、学校の問題、交通事故、労災といったところです。心身科では、どういう病名が付く方であったかということ、大きな括りとしては、**身体表現性障害**、つまり身体の問題なんだけれども心の問題から来ている、そういう精神医学的な診断が付く方が結構多い。その他に**うつ病**、**適応障害**、**不安障害**といった病名が付く方が居られる。これを全部、お話しするわけには行きませんので、今日はその中から代表するものとして、①**気分の障害**、**うつ**ですね。それから②**疼痛性障害**と言われるもの。心の何らかの問題なんだけれども、外に出てくる障害としては、とにかく足腰が痛い。痛いという訴えが前提に出ているもの。その二つについて重点的にお話ししたいと思います。

I. 痛みと気分障害(うつ)

リエゾンカンファランスを受けていらっしゃる方の中で、うつを訴えていらっしゃる方が結構、多い。そういう場合、うつの治療をすると症状が改善してくる。何か所も回って治らなかったのが、心の問題の治療をすることによって治る。なぜうつが痛みと関係してくるのかということを考えてみないといけないわけです。

うつ病の発症には…

どういう風にうつが起こってくるかということで考えてみると①**社会的なストレス**、②**個人の身体状況**。個人の身体状況というのは、高齢になるとか、お産をしたとか、といった個人の問題。それから、③**モノアミン**という**神経伝達物質**が、脳の中で情報の伝達をするために働いている物質、たくさんの物質が神経伝達物質としてあるんですけど、モノアミンとして一つのグループとしてまとめて呼ばれている。その中にはセロトニンとかノルアドレナリンとかドーパミンなどが含まれている。うつには、その中でセロトニンが関わっていると言われています。④もう一つ、うつの人の場合、脳の中で、あるいは身体全体で、ストレスに対応して上手く調節していくというシステム、**ストレス対処系**といわれているのですが、そこに働きの悪さがあるのではないかとされているんですね。

そこをまとめて言いますと、うつには、その人の**素因**と**身体状況**、その人の置かれている状況、とくにその人の**性格特徴**、あるいはその人の心理的葛藤を生むような**社会的要因**、などがあると考えられています。

ストレス対処系

身体の中のストレスに対処するシステムというのがあって、ストレスを感じるとコルチゾールが身体全体の細胞に届いて働きを調節する。そのことによりストレスに対処しやすいように調節する。それをストレス対処系HPAという。その調子を乱しやすい傾向を持った方が、出産されたとか、過労の状態になったとか、葛藤を起こすような心理的、社会的なことがあったりすると、もともとあった神経の働きとか、ストレス対処系の働きの乱れやすさが起きて、余計に身体具合が悪くなる。悪循環を起こす。その結果、うつという状態になる。

うつ病の脳血流

うつになった人の脳の中の血流量を調べると、広い範囲で血液の流れが悪くなっている。腰の痛み、足の痛みが起きてくるというときには、痛みを受容する神経というのがあられるわけなんです。それが抹消から脊髄を通り、脳に行く。そこで神経の働きというのを強く感じすぎないようにするシステムというのが働いてストレス対処系となっているのですが、このコルチゾールの働きが悪いということになって、全身の調節系が乱れ、そのことで痛みがあちこちに出て来てしまうのではないかと推測されます。うつと痛みというのにはかなり関係があるように考えられます。

Ⅱ. 疼痛性障害

身体表現性障害というものも治療が難しく、結構いらっしゃる。この中にもいくつかのグループがありますが、今日は**疼痛性障害**についてお話をします。疼痛性障害というのは、とにかく身体のあちこちが痛い痛いということばかりが起きるといって、その背景には心の問題があるということです。

DSMの定義をみますと、疼痛性障害というのは「1つまたはそれ以上の解剖学的部位における疼痛が臨床像の中心」。これだけ痛いのなら、やはりお医者さんは何かやらなくてははいけないんだらうとなる、そういう痛みを訴えるというのが第一。二番目は、その痛みが著しい苦痛感を生じたために社会的、職業的な機能に障害を生じてしまっている、単に痛い痛いというだけでなく、生活が上手く行かなくなってしまった、そういう状況です。三番目に心理的要因が痛みの起こる原因とか痛みを強くしている原因として重要な役割を果たしているという場合です。そういうものを疼痛性障害と定義しています。

治療

疼痛性障害があるときの脳の機能の問題点が詳しく分かっているかということ、今のところ詳しくは分かっていない。ただ患者の脳の血流を調べると、症状が良くなると前頭葉も側頭葉も血流量が回復している。だから、こういう場合でも、やはり心の問題だけではなくて、脳の働きが変調を来しているということがあるので、痛みのコントロールというメカニズムが上手く働かないという可能性が強いと思われる。心理療法を行ない、お薬ということでやっていますが、とにかく脳の働きを良くして、痛みに対するコントロールが上手く行くようにすることが大切だと思われます。

リエゾン診療の課題と問題点

福島医大では整形科と心身・精神科が共同で診療をやっている、それがリエゾン診療というわけですが、それが実際にどの程度効果があるのか無いのか、という話なんです。我々、いつも上手くいっているとは限らないし、全国的にみてもリエゾン診療が上手くいっているかというと、そうとも限らない。何が問題であり、何が課題かといいますと、まず患者本人が心身科なり、精神科を受診するというのに拒否感がある。だから整形の先生が精神科を受診してみましようと言うと、「私のことをキチガイ扱いするのか」ということになって、帰ってしまうということがある。もう一つは精神科の先生がみな、こういうことに長けているかということがあるんですね。精神科のお医者さんを悪く言うわけではないんですが、うつ病が増えたり、ストレス障害が増えたりで、そちらの問題で精一杯というのが実情なんだと思います。痛みの問題に時間を割くゆとりが無い。そういう時間を確保していくことが課題となります。

Ⅲ. 薬物療法

薬物療法として使うものとして抗うつ薬、抗精神病薬、抗不安薬などがあります。精神科の治療で使われている薬は痛みの場合にもほとんど使われています。抗うつ薬には元々、鎮痛効果があります。うつが良くなって痛みが軽減するということももちろんありますが、整形外科では、こういったリエゾンとかいう話しになる前から痛みに対しては抗うつ薬を使うといったことが行なわれてきているんです。それは何故かということ、抗うつ薬には痛みを軽減する作用が動物実験なんかで確かめられていたということなんですね。

丹羽真一先生「腰痛を解く心の謎」アンケート結果

※アンケート回答者数は47名

抗うつ薬のはたらき

脳のレベルでトーンを下げる役割を果たしている薬を飲むと、脳だけでなく脊髄にも行く。脊髄のレベルでもセロトニンの働きを活発化させるわけです。そうすると痛みの感じ方というのが抑制されるわけです。脳のレベルで働けばウツを治す働きがあるし、脊髄のレベルで働けば痛みを和らげる働きがあるというわけです。だからウツと痛みというのは関係があるというわけなんです。

下降性抑制系

大脳皮質では「どこがどのくらいの強さで痛むのか」ということを示している。扁桃核から島のほうへ伝わっていくのは「それがどのくらい危険なのか」という感情的な評価を行なっている。両方が痛みにとっては重要なんです。下降性の抑制系というシステムが、単に伝わるだけではなくて、その痛みの感じ方を調節するシステムが、今度は脳から脊髄の方へ行っているんです。それが下降性の抑制系といわれているものです。

まとめ

多くの腰痛に心理・社会的要因がかかわる。

その心理・社会的要因には、

- ・こころの病
- ・パーソナリティ

がふくまれる。

心が腰痛にかかわるメカニズムには、

- ・心に変調をきたす脳病態が、痛み制御の機構にも変調をきたす
- ・脳神経モノアミン系がその変調にかかわる

懇親会



高田馬場駅近くの「肉とパスタのお店 at Den」で懇親会を開きました。丹羽先生を囲んで、楽しく、食べ、飲み、語りました。

1. 性別

男女が同数。

性別	件数	%
男性	22	47%
女性	22	47%
無回答	3	6%
計	47	100%

2. 年齢

60代、70代以上が38%を占めた。

年齢	件数	%
20代以下	5	7%
30代	3	4%
40代	4	5%
50代	4	5%
60代	15	20%
70代以上	14	18%
無回答	2	3%
計	47	62%

3. 講演会を知ったきっかけ

情報源	件数	%
早大心理学会会報	4	9%
新聞・雑誌等	16	34%
ポスター・看板	9	19%
知人・教員からの紹介	12	26%
早大心理学会HP	2	4%
インターネット(除く早大心理学会HP)	0	0%
その他	2	4%
無回答	2	4%
計	47	100%

「新聞・雑誌」、「知人・教員からの紹介」が多かった。

4. 満足度

「満足」と「やや満足」を合わせて88%

満足度	件数	%
満足	28	60%
やや満足	13	28%
やや不満	4	9%
不満	0	0%
無回答	2	4%
計	47	100%

5. 個別回答から

リエゾン診療が広がり、必要のない手術を減らしたり、長く続く苦しみに悩む人が減ると良いと思う。

特別セミナー

2015年 4月25日、就活生対象のセミナー

「なるほど! の就活 ~“ありきたり”の先へ~

—面接・履歴書中心の実習とQ&A—」開催。

「なるほど! の就活」余聞

小林 源

東京女学館大学講師、
早稲田大学心理学会副会長

この妙なタイトルにつけたサブタイトルが、また「~ありきたりの先へ~」だった。この表現は上品とは言い難いし、他を引き合いに出して、ありきたりとは非礼な表現でもある。傲慢、生意気の誇りは避けようもなく、その批判は甘んじて受けなければならないことは、先刻、承知もしている。だがしかし、就活と言えば、自分探しと、業界調べ、会社選びで、適職に就け、とつづく、最早やりきれない気持ちに、私はなる。確かに間違いのない常套句だが、これで真に求職者を支援できるのだろうか。

・早稲田大学心理学会のあり方の一つ。

創設以来、心理学および関連学科の卒業生を中心に、心理学周辺の事象をテーマに、講演会、教養講座などを、年に数回ずつ実施してきた。親睦を深めつつも、そこには当学科と周辺諸学を学んできた者たちだからこそその関心事が溢れ、先行きの方向性を追い求めずにはいられない強い思いが絶えることなく、維持継続されてきていることに当学会員の存在感を示し得るのではないかと、ひそやかな自負をも抱いてきた。そしてそこにもう一つ、我々学会の扱うテーマにほど近い、就活に関わる後輩学生が接することになる事柄に、学会の立場から役立っていけるかもしれないとの考えと、これが可能となれば、もう一つの存在感を示せることになるのではないかと発想した。

・当学会ならではの独自性を目指したい。

冒頭にも触れたように、その場合、世間と同じことをすることには関心がない。だから今般のセミナーの中に、ワークショップを組み入れもした。そのこと自体と、そこへの書き込みは恐らく前例のないことだった筈だ。すなわち同一の問題を他の人はどう考え、どう対処し、その結果をどう評価するかを3つの段階を経て知りうることは、それが自分とほぼ同じであれば自身への自信に繋がるであろうし、ことごとく異なっていることに気づけば、それは新しい発見としての刺激にもなり、自己の見直しに役立つことにもなる。どちらにしても、それは右から左に流れるだけの講義を聞くのとは質的に雲泥の差があると思う。いわば異次元の強烈な刺激となり血肉と化する筈だと、やや思い上がりの的にだが、確信する。詳細を示す余裕はないが、本セミナーで、要は自分以外の出席者が面接時にどんな質問を投げかけられるかを想定したか、その質問にどのように答えたか、その答がどう評価されたのか、またその評価理由は何であったのかを、すべて知り得る(構成だった)のである。



評価について、自分自身も、誰かが書いたものについて必ず行ない、行なわれないうまでも、他者はどう考えたかを居ながらにして知りえた筈だ。それを可能にするため、全出席者が書いたものをすべて印刷して一綴りにしたうえ、全員に配布もしたわけである。このことより、採点する側に立ち、採点される側への要望や要請に気づくこともでき、その気づきを、本来の受験者に戻った時、自身の問題として生かせるに違いないという予測に立って、この手法を試みたのである。

教養講座要旨

第18回教養講座 2015年5月23日

スクール・ソーシャルワーカーの仕事 ～相談事例を通して～



中村 玲子

帝京平成大学健康メディカル学部 講師
臨床心理士・精神保健福祉士

平成20年度より文部科学省は、スクール・ソーシャルワーカー（以下、SSW）活用事業を導入しました。平成27年度は、4,141人のSSWが配置予定となっています。

学校現場では、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など様々な生徒指導上の課題があります。それらに対応するため、SSWが教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことが求められています。

ソーシャルワークでは、人と環境の相互作用に焦点を当てます。例えば、児童虐待の問題では、虐待されている児童に対する支援だけでなく、被虐待児が置かれている環境（虐待する大人、生活環境、人的サポート等）の調整も行います。

ソーシャルワークの三本柱として、①ケースワーク（生活上の問題を抱えた個人への支援）、②グループワーク（集団を活用することにより、個人の成長や対処技能の向上を目指す支援）、③コミュニティワーク（地域の課題発見やネットワークづくりにより解決を目指す支援）が挙げられます。

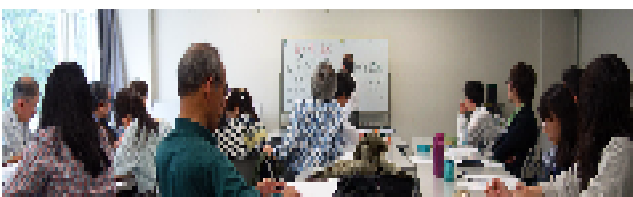
また国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）によるソーシャルワークの定義では、ソーシャルワーカーの活動は「主として個人に焦点を置いた心理社会的プロセスから社会政策、社会計画および社会開発への参画にまで及ぶ。

全般のセミナーの内容は、これまで論じられてきた、いわゆる就活方法にはどうしても納得しきれないところに一石を投ずる思いで編み出した方途だけに、やや一途な点があるかも知れないが、一方に無関心ではられない幾多のヒントにお気づき頂けたに違いないとの若干の自負もないではない。

・セミナーのフォローも

このセミナーにはフォロー講座も加えた。この種のセミナーに、フォローの機会を設けるのは多分、異例に違いない。その期間は2週間とした。この意味は、その間に就活を行ない、種々の思わしくない経験、即ち、学んだことと現実とのあいだの齟齬や、それへの対処の仕方に迷い悩んだことを持ち込んで貰おうとの配慮に基づくものであった。フォローアップ希望者には、当セミナー実施後、参加者全員に行なうアンケートに、署名と（フォローアップを）希望する旨を記載するようお願いしたのだが、3人の応募者があった。それぞれに対応はしたが、その詳述は、このレポートの趣旨そのものではないので略す。要はこれまで見られることのなかった就活方法のプロセスを提示したかったのである。

就活のありようを考えるために、必ずしもよい事例ではないかもしれないが、一流を目指すアスリートは、基礎体力や基礎練習ができていないと高度な専門訓練は受けられない。同様に就活も、働くことの意味や仕事とは何かなどの人生の基本について、考え尽くしていないと、就活のレベルと内容向上には自ずと限度があることを知らなければならない。長らく人口に膾炙されてきた「唇に歌を、心に太陽を」ではないが、「就活に勇気を」を忘れないで欲しい。それを知る材料は、実は巷に溢れている。尤もらしさに惑わされず、身近な真実を知って就活に臨んで欲しいと心底思う。



この中には、人びとがコミュニティの中でサービスや社会資源を利用できるように援助する努力だけでなく、カウンセリング、臨床ソーシャルワーク、グループワーク、社会教育ワークおよび家族への援助や家族療法までも含まれる。」とされています。このように、ソーシャルワーカーの専門的な活動は多岐にわたります。

SSWの業務として、文部科学省が挙げているのは①問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け、②関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整、③学校内におけるチーム体制の構築、支援、④保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供、⑤教職員等への研修活動です。

すでに学校現場に導入されているスクールカウンセラーに対しては、文部科学省は期待される役割として①児童生徒に対する相談・助言、②保護者や教職員に対する相談(カウンセリング・コンサルテーション)、③校内会議等への参加、④教職員や児童生徒への研修や講話、⑤相談者への心理的な見立てや対応、⑥ストレスチェックやストレスマネジメント等の予防的対応、⑦事件・事故等の緊急対応における被害児童生徒の心のケアを挙げています。両者には、共通するような活動が多いように見受けられ、SSWの導入当初は戸惑った教職員も少なくなかったことが予想されます。

SSWの特色としては、①専門家が地域に出向いて支援を必要とする人を発見し、支援を行うアウトリーチサービスや、②権利侵害を受けやすい側の立場を支持し、共に主張するアドボカシー(権利擁護)、③個人の持つ病理ではなく強さ(ストレングス)に焦点を当てるエンパワメント・アプローチ、④複数のサービスを包括的に提供できるように支援するケアマネジメント、またチームアプローチの重視等が挙げられます。

SSWは児童生徒の抱える問題に対し、主に校内チーム体制の構築や教職員のサポート、教職員等への研修等の校内体制づくりと、関係機関との調整やネットワークの構築等の関係機関との連携を行って支援をします。

主な関係機関には児童相談所、福祉事務所、適応指導教室、警察、家庭裁判所、保護観察所、医療機関等があります。

(当日は、3つの事例をご紹介しながら、活動の実際やポイント、苦勞した点等をお話し致しました)

SSWとしての活動から、地域の社会資源とつなげること、つながることの大切さを日々実感しておりました。学校内外を問わず、専門職が多職種のチームとして協働し、子どもや家庭を支援する体制づくりがとても重要であると感じております。

エッセイ

卒業して42年。吝財翁66歳にして「いちやるば・ちようでい!」の友を想う。

村松 誠 (1973 一文卒)

NPO法人ガーデンを考える会 常任理事

先般、恩師久米先生の偲ぶ会が行われた。卒論の副査としてまた自分の住居が先生のご自宅の近くで何度かお会いもし、自分が書店に関わった時には仕事も兼ねて研究室にも度々お邪魔もした。屈託のない笑顔が素敵な方でした。卒業時に黒姫山の麓で「雪見旅」というか、先生はこよなく学究とお酒を愛する方だったので「黒姫雪見酒会」ではありましたが。



久米先生と若田宇宙飛行士

この地は一茶の生誕地ですが、「うまさうな雪がふうはりふうはりと」の淡雪でのオンザロックを「回し飲み」ならぬ一見かき氷のようなので「回し喰い」。琥珀色のウイスキーと純白の新雪がいまでも青春の思い出の一曲であります。

参集した学友たちとは卒業後数年は相互に
賀状などで親交がありました。が昨今の情報化
時代の中NET化がすすみ、アナログのやり取
りが減少し、喪中や本人の勇退などにより連
絡先不明となり音信不通者が激増しています。
逆にFACEBOOKなどのデジタルの中で、自
分も「いちゃるば、ちょうでい」という沖縄方言
を座右の銘として親交拡大中であります。

意味は「一度会えば、みな兄弟」。軍備に頼
らず歌舞音曲で国家を保持した琉球の民
族文化そのものともいえる言葉であります。
那覇の教科書出版の幹部との親交から学
んだ言葉であります。その後の親交での
実感でもあります。



モロッコのサハラ砂漠。右は夫人。

勇退までの実社会での友人に加え勇退後
の遊樂人生の中で、晩年、恒例とした語学留
学で孫に近い各国の若者とも新たな親交を増
殖中ではあります。そのような中でご勇退した
春木先生(卒論の主査にして仲人)や研究室
の時代に石井先生、織田先生などと学業では
能力不足の愚後輩でしたが親しくお付き合い
させていただいた関係から学会に参加させて
いただきました。

翁は人畜無害と思い、季節と草木の旬を愛し
繚繚逍遥する翁人でございます。旅時間多く、
学会にもなかなか時間調整ができず、不義理
ではあります。が、学究の師となった同輩やこの
学会を通じて新しい「いちゃるば・ちょうでい。」
の友人が増えることを楽しみにしております。
実業界の同輩も多数、勇退組となり有効的な
時間活用ということで学会への勧誘を進めて
おります。

昨今の団塊世代の翁人は学生時代ロック
アウトやデモを理由の学業不足を反省し勇
退後一念発起者も多く、最近も62歳でR大
学院大学のMBAを取得したり、61歳でNY
のJ音楽学校を卒業したり友がおります。

「若者老いやすく学成り難し」とは古来のこ
とわざですが「翁人、老いる前に再度、学ぶ
べし」も翁人の新しい座右の銘とすべきと、
昨今宴席説法をしております。



ウィーン大学
・植物園

また自分が深くかかわる「園芸・植物の分野」
では「園芸心理療法」が乱立ですが、この学
会にも大隈重信侯が鹿鳴館宴に饗したトロピ
カルフルーツを日本初の温室栽培した古事か
らすれば早稲田にあっても当然なので秘かに
期待をしております。

寄付のお願い

【皆様からのご厚志をお受けいたします。】

銀行名：ゆうちょ銀行

ゼロイチキョウ

支店名：〇一九(支店) ※漢数字で表記

種別：当座預金

口座番号：0584416

口座名義：早稲田大学心理学会

発行元：早稲田大学心理学会

〒162-8644 新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部心理学教室内

電話 03-5286-3743 FAX 5286-3759

担当：石井康智

メール：waseda_shinri@yahoo.co.jp

担当：朝岡美好

書類発送元：

一般社団法人学会支援機構

〒112-0012 文京区大塚5-3-13

小石川アーバン4F

電話 03-5981-6011 FAX 5981-6012

早稲田大学心理学会ホームページ：

<http://www.waseda.jp/assoc-wpa/>